

第2回 えびな南高齢者施設 運営協議会 会議録

日時：2025 年 9 月 6 日（土）10：00～12：00

場所：地域交流室（1 階）

参加者：（敬称略）

地域住民代表（自治会役員）	3 名
ボランティア代表	1 名
家族代表	2 名（欠席）
施設職員代表	1 名（在宅介護課 課長）
所長（司会）・副所長（記録）	2 名

1. 所長から

杉久保南自治会の会長に代わり、副会長が会長として活動されることとなったことを紹介。

直近のコロナ感染の状況（法人内の事例含め）を報告。

2. 活動状況の報告

（1）2025 年度 4～6 月の活動報告について

- ①運営状況・・・・・・・・・・・・・資料①
- ②ボランティアについて・・・・・・・・・・・・・資料②
- ③事故・苦情について・・・・・・・・・・・・・資料③
- ④防災関係 ～ 訓練の実施状況・・・・この期間での実施はなし

①～③について、資料にもとづき説明をする。養護老人ホームについては、介護保険契約とは異なる入所の仕組みを説明し、行政に関するバラつきなどを伝えた。

ご意見・ご質問

● 運営状況から

Q. 養護老人ホームの入所が少ないとのこと。海老名市内の人はどのくらいか。

A. 海老名市が措置している人数は 4 名になった。川崎市や横浜市、東京都からの措置は、8～9 名。

● 苦情の報告に関してのご意見・感想

慣れ親しくしない場合は、“堅苦しい”ということと言われることもあるでしょう。相手の捉え方によって違うこともあるし、難しいです。今の時代、相手（お客さん）の言うことが重要視されますので、とても難しいところだと思います。

● 防災について

Q. 今朝、市内放送で火災発生のご案内があり「な〇み」と言っていた。利用している人がいるので、びっくりした。誤報だったということですが、誤報は繰り返し起きています。こういうことは結構あるのですか。

A. まず、市内放送で「〇〇が火災」と言うときと、建物火災の目標が「〇〇」という場合があります。今回は、「な〇み」さんは目標地でした。「な〇みが火災です」という放送ではなかったですが、お知り合いがいる場合は、目標地なのか火災対象建物なのかを確認されるとよいと思います。実は、今回の誤報だった建物は中心会のサービス付き高齢者向け住宅（コミュニティケアおおや）での内容でした。場所は大谷南にあります。煙感知器の誤作動が原因でした。湿気等にも反応して誤作動を起こしてしまうことがあるようです。お騒がせして申し訳ありませんでした。

Q. 消防署には誰が連絡をするのですか。自動ですか？

A. 自動です。煙探知機がセンサーに触れることがあると自動で消防署に連絡がいきます。建物内では職員が報知器の音などから、その場所に確認に向かい、火災であれば初期消火、何もないければ、消防署に連絡をして「誤報でした」と伝えています。

（２）感染症の発生状況について …４～６月の期間での感染症発生はなかった。

（３）社会福祉法人としての公益的取組み・・・広報誌参照

①ライフサポート事業 ②就労支援事業

①②の取り組みを説明し広報誌の裏面にケース事例を掲載していることを説明する。就労支援事業では、施設内で人に慣れる体験を重ね、アルバイト等の就職に繋がったケースがあることを伝える。

（４）職員代表から（在宅介護課 課長より）～説明後にケアセンター案内

* えびな南ケアセンターの紹介動画(YouTube) ～デイサービス紹介及び送迎編

* デイサービス通信と、パンフレットに記載された内容を説明

3. 地域住民代表者・ボランティア代表より

- ・ デイサービスを見学して、手作業をととても多く実施している印象を受けました。考えてプログラムを提供していますね。
- ・ 利用者がとても明るい表情で、アットホームな印象を受けました。
- ・ 今日話を聞いて、所長の熱い思いが伝わりました。施設内をみても、その気持ちで働いている職員さんがいるのがとてもよくわかりました。
- ・ 活動されている内容からも、とてもあたたかい雰囲気施設であると感じました。地元こうした施設があることはとても心強いです。
- ・ デイサービスに来ている方は、お元気な方が多くて驚きました。

5. 次回の日程 第3回 えびな南高齢者施設運営協議会

12月 20日（土） 14時 ～ 16時